



月刊
さわやか

第153号
令和2年1月15日

発行：公益社団法人
日野市シルバー
人材センター
編集：広報委員会
日野市日野本町2-4-7
Tel: 042-581-8171



会員数(人)

令和元年11月30日

計	1,711
男性	1,207
女性	504
11月入会者	23 (男9、女14)
11月退会者	7 (男5、女2)

会員の皆様 今年もご活躍を

新春のごあいさつ 会長 有賀信夫



加と会員の増強に、例年同様に取り組んでおります。会員の皆様に就業機会を提供すること、それは最優先の課題です。

明けましておめでとーございませう。会員の皆様ならびに事務局の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。旧年中は、皆様の就業や社会奉仕活動によって地域社会に貢献できました。厚くお礼申し上げます。

11月の実績を見る限り契約金額および就業実人員共に前年度実績を4・5%ほど上回っています。契約金額は、是非、年間7億円の大台を超えたいものです。受注増加の理由を考えますと、日野市のご支援と社会の人手不足の進行によるとの結論に至りました。今後も事業は堅調に推移すると見込まれます。

また会員数は平成26年度を底として、平成30年度までの4年間で100人近く増えました。今年度はさらに大幅な増加も期待できそうです。

しかし、会員の平均年齢の上昇という問題が顕在化しています。平成30年度の会員平均年齢は73歳を越えており、上昇にブレーキをかける必要があります。最近の多摩地区8市SCの会長会議では「60歳代と女性の入会を増やそう」との提案もありました。なお、日野市SCの平均年齢はその8市中では最も低くなっています。

会員の事故防止に全力

一方、令和元年度は事故の多い年となっています。12月末時点で傷害事故、賠償事故は合わせて17件に達しています。この中には死亡という重大事故も含まれており、事故再発防止委員会から4項目の対策の報告を受けました。この報告をもとに、事故防止に向けて全SCの運動を展開していく所存です。

令和2年の皆様のご健勝、ご活躍を祈念して、新年のご挨拶いたします。

共働・共助

配分金の支払日

- 1月20日(月)
- 2月20日(木)
- 3月19日(木)
- 4月20日(月)
- 5月20日(水)
- 6月19日(金)



門松製作中の様子

正月恒例の門松納品

【植木班】

恒例となった植木班の門松製作が12月中旬から始まり、年末26日にはSC事務所正面玄関前とリサイクル事務所にボランティア作業で納めました。いつもながら立派で見事な出来栄でした。植木班の皆さん、お疲れ様でした。

令和2年の年頭に寄せて



日野市シルバー人材センター名誉会長

日野市長 大坪 冬彦 氏



新年明けましておめでとうござ
います。

日野市シルバー人材センターの
皆様におかれましては、健やかに
新年をお迎えのことと心よりお慶
び申し上げます。

日頃より、有賀会長はじめ役員・
会員の皆様には、シルバー人材セン
ターの運営はもとより、市の業務
を担っていただくとともに地域奉
仕活動として、市内一斉清掃、小
中学校でのあいさつ運動などを通
じ市政にもご協力いただき心より
感謝申し上げます。

昨年は日野市シルバー人材セン
ターが設立40周年を迎え、記念
式典が盛大に挙行されました。皆

様にとつても節目の年となったので
はないでしょうか。

さて、私は平成31年度の重点政
策として、「地域資源と文化を次
世代へ伝えるまち」「子育てしたい
まち・しやすいまち」「さまざまな
人々が生涯活躍できるまち」「日
野市に暮らす価値を高める安全・
安心なまち」「持続可能な自治
体経営と業務効率化の推進」の5
つを掲げ、市政に取り組んできた
りました。昨年も申し上げました
通り、日野市では高齢化が進行し
ており、ほぼ4人に1人が高齢者
という状況になっております。また、
団塊の世代が75歳を迎える202
5年問題や公共施設の老朽化等
の多くの行政課題も存在します。

このような厳しい状況の中で政
策を推進し、誰もが暮らしやすい
まちづくりを進めていくためには、
高齢者の方々が社会参加し、知
識・技能を地域社会で活かしてい
くことがより一層必要になってい
くのではないかと考えております。

シルバー人材センターの皆様におか
れましても、その一翼を担っていた
だければ幸いです。

結びとして、本年も日野市シルバ
ー人材センターの皆様により市民の生活
と市の発展のためにお力添えとご
協力をお願いするとともに、皆様
のご健勝を祈念申し上げます。新
年のごあいさつとさせていただきます。
本年もよろしくお願いいたしま
す。

宮古理事が辞任

当SCの宮古和則理事(写真)
が一身上の理由により、令和元年
12月31日をもって理事および安全
管理委員会委員長を辞任されま
した。

宮古理事は平成25年6月に理
事に就任。以後、4期にわたり安
全管理委員会委員長を兼務しな
がら当SCの運営に寄与されてき
ました。長い間のご尽力、ありがと
うございました。



宮古和則理事

理事会ニュース

★第9回理事会 12月23日

・審議事項Ⅱ正会員の入会(15人
承認、1月1日11人入会)

・報告事項Ⅱ令和元年度事業実
績(4月～11月)Ⅱ4億7533
万円(前年度比4.4%増)、同
予算執行状況、宮古和則理事
の辞任届承認(2面の記事参照)、
ほか

★委員長連絡会議 12月19日
議題Ⅱ各委員会の活動報告、
ほか

センタースケジュール

◆手編み「ふわもこ」スリッパ講習

◆会(1月17日、センター会議室)

◆小学校事務交流会(1月21日、

センター会議室)

◆会員相談窓口(1月23日、セン

ター会議室)

「会員相談窓口」は毎月第2、
第4木曜日の午後2～4時に
設置されます。

相談内容は就業、組織・運
営に関する悩み・意見・要望等
です。あらかじめ電話で予約し
てください。正副会長、常務理
事が対応します。

班会議で地域防災学ぶ

新井・高幡班 「台風19号」を教訓に

後期の地域班会議が昨年12月から相次いで開かれています。会議の内容は班によって異なりますが、ここでは12月7日(土)開催の新井・高幡班の会議を紹介します。同班では昨秋の台風19号による災害危機を教訓に、日野市の防災担当職員による地域防災をテーマにした講話がおこなわれました。以下は岩谷真三郎班長のレポートです。

◇◇◇◇◇
地域防災について学ぶことを目的として、新井・高幡班の地域班会議では日野市防災安全課の職員による「講話」を企画・実施しました。

昨年10月の台風19号による降雨災害により浅川・多摩川は危険氾濫水位を超え、8600人も



岩谷真三郎班長

市民が洪水時指定避難所等に避難しました。

新井・高幡班の大半のエリアが日野市洪水ハザードマップで浸水被害が想定される地域となっており、実際自宅の床下まで浸水した会員もいました。

◇◇◇◇◇
昨今、地球温暖化による影響なのか、各地で大規模な災害が発生しています。市内には浅川・多摩川・程久保川の3つの1級河川が流れ、豪雨による洪水発生リスクを、他人事ではなく実際起こりうる危険として認識する必要があります。多摩川に架かる日野橋



台風19号で橋脚が沈下した日野橋

の橋脚破損による通行不能が続くなど市民生活にも大きな影響が出ています。

講話では台風19号の時の情報発信について、緊急放送の防災行政無線は住宅構造の気密化により聞き取れない傾向がありました。一方、比較的有効な情報伝達手段は防災情報メールであり、事前登録の仕方について説明がありました。

シルバー会員の高齢化にどのように対処するかは喫緊の課題となっています。洪水等の災害発生が想定される場合に、どのような避難行動をしたら良いのか日頃から考えておく必要があります。今回、講話を企画したのも、地域班会議の場を活用してこうした課題に対して会員の認識を深める機会にしたいという思いがあったからです。

講話の中で特に印象が深かったのは、災害発生時にこそ、近隣住民の共同・共助の行動が頼りになること。実際、新井・高幡班エリアの指定避難所であった第八小学校では、市の職員だけでは手が回らず、地域住民が協力し合って受け入れ対応に当たったことなどの紹介がありました。

行政が出来ることには限界がある

という現実を知り、地域の住民の構成員としてのシルバー会員がこうした活動の一端を担うのは、とても意義があると考えます。

小学校校舎の管理 市への意見・要望と回答

小学校校舎管理に就業中の会員による交流会(昨年開催)と、その後のアンケートによって集められた管理業務に対する意見・要望を昨年12月に主管課である日野市教育委員会庶務課へ伝えました。

意見・要望は事業委員会の担当者を中心に取りまとめを行いました。

このほど通知された回答によると、第六小の自主管理運営委員会によるスポーツ開放の予定を教えて欲しいという意見については情報を提供するという回答でした。また翌月の予定をたてるために臨時校舎管理依頼書を早く出してほしいという意見に対しては、原則として前月20日までに依頼書が届くように調整する、との回答をいただきました。他にも庶務課と話し合いを行いましたので、お問い合わせのある方は、事務局担当職員までご連絡下さい。

(事業委員会)

事務局より

■雪の日に備えよう

雪が降る季節になりました。次の点に注意して事故を防ぎましょう。

- 不要不急の外出は控える
- 必要なものは、事前に準備する
- 外出の時は、時間に余裕を持って行動する

- 滑り止めの付いた靴を履く
- 両手はいつも使えるようにする
- 走ったり、急に止まったりするとは絶対に避ける
- 重心を前にし、いつもより小さな歩幅で足の裏全体を付けて歩く

- 車を運転する時は、スタッドレスタイヤやチェーン等を装着し、車間距離を空けて低速で走る
- 降雪後は早めに除雪を行う

■交通事故を防ぐために

大変残念ですが、都内シルバー人材センターにて経路途中における死亡事故が発生しました。横断歩道ではない場所を横断中に自動車にはねられて死亡するというものでした。

行き帰りも仕事のうちです。当センター会員の皆様も、より一層の注意をお願いします。

- 横断前には、左右の安全を確認する

- 右左折車両や信号を見落とし、た車両などに注意する

- 信号のない横断歩道で車両が停止した場合、その陰から来る車両がないか確認して横断する

- 斜め横断や禁止場所での横断、飛び出しなどはしない

- 一時停止の標識のある場所や見通しの悪い場所では、必ず安全を確認する

- 大型車は、死角が大きく歩行者などを見落としやすいことを意識する

- 自転車に乗る時は、ヘルメットを着用する

■安全心得10ヶ条

会員事故防止のため、就業に際しては「安全心得10ヶ条」を常に心にとめましょう。

- (1) 作業は安全第一を心がけること
- (2) 器具類は、使用する前に必ず点検すること
- (3) 服装・履物は、作業に合った動きやすいものにする
- (4) 作業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと
- (5) 加齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと
- (6) 作業現場は、常に整理整頓を

心がけること

- (7) 共同作業では、合図・連絡を正確に行うこと

- (8) 帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつけること

- (9) 健康には常に注意し、良好な状態で就業すること

- (10) 仕事の前日は、十分睡眠をとるように心がけること

KY講習会開催

12月5日(木)の午前と午後の2回、生活・保健センターで各職場の安全推進委員など26名を対象として実施しました。東京しごと財団の坂東係長がKY(危険予知)をテーマに各職場に多い事故の事例を踏まえ、講話とグループワーク各1時間の構成で講習を実施。日常の業務に潜むリスクを再確認し、これからの安全就業に向けて一段と気を引き締めるとなりまし



(安全管理委員会)

日野市健康課がお届けする健康サポートルーム

かがやき

「輝トレーニング」⑤

身体を動かす習慣のない方が、運動習慣を無理なく身に付けることを目的とした健康増進施設です。運動指導員が運動の仕方をおかりやすくお伝えし、自発的に運動ができるようにお手伝いします。お気軽にご利用ください。

▼ランニングマシン▲

天候に左右されず、自分に合ったスピードで有酸素運動ができるマシンです。ベルトの傾斜角度を上げると足の蹴りだしの負荷が増えます。路上と比べると、障害物や凹凸がなく、けがの予防や筋力に自信のない人でも安心して取り組みます。マットやダンベルで筋トレした後、有酸素運動を行えば、脂肪燃焼効果、果がさらに高まります。



★施設の場所・お問合せ

日野市日野本町1-6-2

日野市生活・保健センター内

☎042(581)4225(直通)